



CTI ルート ポイントの設定

Computer Telephony Integration (CTI) ルート ポイントでは、仮想デバイスを指定します。この仮想デバイスは、アプリケーションが宛先変更を制御している多重同時コールを受信することができます。

ファースト パーティ コールを制御するために、アクティブな音声回線ごとに CTI ポートをオプションで追加できます (CTI アプリケーションがこれを決定します)。CTI ルート ポイントおよび CTI ポートを使用するアプリケーションには、Cisco IP Softphone、Cisco Unified Communications Manager Auto-Attendant、および Cisco IP Interactive Voice Response System があります。Cisco Unified Communications Manager の管理ページに CTI ルート ポイントを追加した後、RIS Data Collector サービスからの情報が、[CTI ルート ポイントの設定 (CTI Route Point Configuration)] ウィンドウ内に表示されます。デバイスの IP アドレス、およびデバイスが登録されている Cisco Unified Communications Manager の名前が利用可能であれば、表示されます。

これらのアプリケーションに関連した CTI ルート ポイントおよび CTI ポートの設定方法については、各アプリケーションに付属の資料とオンライン ヘルプを参照してください。

ここでは、次の内容について説明します。

- [CTI ルート ポイントの検索 \(P.79-2\)](#)
- [CTI ルート ポイントの設定 \(P.79-3\)](#)
- [CTI ルート ポイントの設定値 \(P.79-4\)](#)
- [CTI ルート ポイントの削除 \(P.79-7\)](#)
- [CTI ルート ポイントのリセット \(P.79-8\)](#)

CTI ルートポイントの検索

CTI ルートポイントを検索し、一覧表示する手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 [デバイス] > [CTI ルートポイント] の順に選択します。

[CTI ルートポイントの検索と一覧表示 (Find and List CTI Route Points)] ウィンドウが表示されます。アクティブな (前回の) クエリーのレコードも、ウィンドウに表示されることがあります。

ステップ 2 データベース内のすべてのレコードを検索するには、ダイアログボックスが空であることを確認し、[ステップ 3](#)に進んでください。

レコードをフィルタリングまたは検索する手順は、次のとおりです。

- 最初のドロップダウン リストボックスから、検索パラメータを選択します。
- 2 番目のドロップダウン リストボックスから、検索パターンを選択します。
- 必要に応じて、適切な検索テキストを指定します。



(注) 検索条件を追加するには、[+] ボタンをクリックします。条件を追加すると、指定したすべての条件に一致するレコードが検索されます。条件を削除するには、[-] ボタンをクリックして最後に追加した条件を削除するか、[フィルタのクリア] ボタンをクリックして、追加したすべての検索条件を削除してください。

ステップ 3 [検索] をクリックします。

一致するすべてのレコードが表示されます。[ページあたりの行数] ドロップダウン リストボックスから別の値を選択して、各ページに表示する項目の数を変更できます。



(注) 該当するレコードの横にあるチェックボックスをオンにして [選択項目の削除] をクリックすると、複数のレコードをデータベースから削除できます。[すべてを選択] をクリックして [選択項目の削除] をクリックすると、この選択対象として設定可能なすべてのレコードを削除できます。

ステップ 4 表示されたレコードのリストで、表示するレコードのリンクをクリックします。



(注) リストのヘッダーに上矢印または下矢印がある場合、その矢印をクリックして、ソート順序を逆にします。

選択した項目がウィンドウに表示されます。

追加情報

[P.79-9](#) の「[関連項目](#)」を参照してください。

CTI ルート ポイントの設定

CTI ルート ポイントを追加または更新する手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 [デバイス] > [CTI ルートポイント] の順に選択します。

[CTI ルートポイントの検索と一覧表示 (Find and List CTI Route Points)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 次のいずれかの作業を行います。

- CTI ルート ポイントをコピーするには、該当するルート ポイントを見つけます (P.79-2 の「[CTI ルート ポイントの検索](#)」を参照)。[\[検索結果 \(Search Results\)\]](#) リストから、コピーする CTI ルート ポイントに対応する **[コピー (Copy)]** アイコンをクリックし、[ステップ 3](#) に進みます。
- 新規 CTI ルート ポイントを追加するには、**[新規追加]** ボタンをクリックします。[\[CTI ルート ポイントの設定 \(CTI Route Point Configuration\)\]](#) ウィンドウが表示されます。[ステップ 3](#) に進みます。
- CTI ルート ポイントを更新するには、該当する CTI ルート ポイントを見つけます (P.79-2 の「[CTI ルート ポイントの検索](#)」を参照)。次に、[ステップ 3](#) に進みます。

ステップ 3 適切な設定値を入力します (表 79-1 を参照)。

ステップ 4 **[保存]** をクリックします。

電話番号の追加と設定の方法については、[P.57-3](#) の「[電話番号の設定](#)」を参照してください。

Cisco Unified Communications Manager の管理ページに CTI ルート ポイントを追加した後、RIS Data Collector サービスからの情報が、[\[CTI ルートポイントの設定 \(CTI Route Point Configuration\)\]](#) ウィンドウ内に表示されます。デバイスの IP アドレス、およびデバイスが登録されている Cisco Unified Communications Manager の名前が利用可能であれば、表示されます。

追加情報

[P.79-9](#) の「[関連項目](#)」を参照してください。

CTI ルート ポイントの設定値

表 79-1 では、CTI ルート ポイントの設定値について説明します。関連する手順の詳細については、P.79-9 の「[関連項目](#)」を参照してください。

表 79-1 CTI ルート ポイントの設定値

フィールド	説明
[デバイス名]	このデバイスに固有の識別子を、1～15 文字（英数字、ドット、ダッシュ、または下線を含む）で入力します。
[説明]	CTI ルート ポイントの内容を表す名前を入力します。
[デバイスプール]	デバイス プールの名前を選択します。デバイス プールは、自動登録用の Cisco Unified Communications Manager グループ、日付 / 時間グループ、地域、およびコーリング サーチ スペースを含む、このデバイスのプロパティの集合を指定します。
[共通デバイス設定 (Common Device Configuration)]	この CTI ルート ポイントを割り当てる共通デバイス設定を選択します。共通デバイス設定には、特定のユーザに関連付けられた属性（サービスまたは機能）が含まれています。共通デバイス設定は、[共通デバイス設定 (Common Device Configuration)] ウィンドウで設定します。詳細については、P.93-1 の「 共通デバイス設定 」を参照してください。
[コーリングサーチスペース]	<p>ドロップダウン リスト ボックスから、コーリング サーチ スペースを選択します。コーリング サーチ スペースは、収集された（発信）番号のルーティング方法を決定するために検索されるパーティションの集合を指定します。</p> <p>Max List Box Items エンタープライズパラメータを使用して、このドロップダウン リスト ボックスで表示するコーリング サーチ スペースの数を設定できます。Max List Box Items エンタープライズパラメータで指定した数よりも多くのコーリング サーチ スペースが存在する場合、ドロップダウン リスト ボックスの横に [検索] ボタンが表示されます。[検索] ボタンをクリックして、[コーリングサーチスペースの検索と一覧表示 (Find and List Calling Search Spaces)] ウィンドウを表示します。コーリング サーチ スペース名を検索し、選択します (P.46-2 の「コーリングサーチスペースの検索」を参照)。</p> <p> (注) リスト ボックスの最大項目を設定するには、[システム] > [エンタープライズパラメータ] の順に選択し、[CCMAdmin Parameters] を選択します。</p>
[ロケーション (Location)]	このルート ポイントに適切なロケーションを選択します。ロケーションは、このロケーションとの間のコールに使用可能な帯域幅の合計を指定します。ロケーションに [None] を設定すると、そのロケーションの機能では、このルート ポイントが消費する帯域幅を把握しません。

表 79-1 CTI ルート ポイントの設定値 (続き)

フィールド	説明
[ユーザロケール (User Locale)]	<p>ドロップダウン リスト ボックスから、その CTI ルート ポイントに関連したロケールを選択します。そのユーザ ロケールは、言語とフォントを含んだ、ユーザをサポートする一連の詳細情報を識別します。</p> <p>Cisco Unified Communications Manager は、ローカリゼーションをサポートする CTI ルート ポイントに対してのみ、このフィールドを使用可能にします。</p> <p> (注) ユーザ ロケールが指定されない場合、Cisco Unified Communications Manager はデバイス プールに関連付けられているユーザ ロケールを使用します。</p> <p> (注) 英語以外の言語で情報を (電話機に) 表示することをユーザが要求している場合は、ユーザ ロケールを設定する前に、ロケール インストーラがインストールされていることを確認します。『Cisco Unified Communications Operating System アドミネストレーション ガイド』の Cisco Unified Communications Manager ロケール インストーラについての説明を参照してください。</p>
[メディアリソースグループ リスト (Media Resource Group List)]	<p>適切なメディア リソース グループ リストを選択します。メディア リソース グループ リストは、優先順位順に並べられたメディア リソース グループから構成されます。アプリケーションは、メディア リソース グループ リストで定義された優先順位に従って、使用可能なメディア リソースの中から、必要なメディア リソース、たとえば、保留音サーバを選択します。</p> <p>[<なし>] を選択すると、Cisco Unified Communications Manager は、デバイス プールに定義されているメディア リソース グループを使用します。</p> <p>詳細については、『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「メディア リソースの管理」を参照してください。</p>
[ネットワーク保留 MOH 音源 (Network Hold MOH Audio Source)]	<p>ネットワークが保留動作を開始するときに再生されるオーディオ ソースを指定するには、ドロップダウン 矢印をクリックし、表示されるリストからオーディオ ソースを選択します。</p> <p>オーディオ ソースを選択しない場合、Cisco Unified Communications Manager は、デバイス プールに定義されているオーディオ ソースを使用します。または、デバイス プールがオーディオ ソース ID を指定していない場合は、システム デフォルトを使用します。</p> <p>オーディオ ソースの定義は、[保留音オーディオソースの設定 (Music On Hold Audio Source Configuration)] ウィンドウで行います。このウィンドウにアクセスするには、[メディア リソース] > [保留音オーディオソース] の順に選択してください。</p>

表 79-1 CTI ルート ポイントの設定値 (続き)

フィールド	説明
[ユーザ保留 MOH 音源 (User Hold MOH Audio Source)]	<p>アプリケーションが保留操作を開始するときに再生されるオーディオソースを指定するには、ドロップダウン矢印をクリックし、表示されるリストからオーディオソースを選択します。</p> <p>オーディオソースを選択しない場合、Cisco Unified Communications Manager は、デバイスプールに定義されているオーディオソースを使用します。または、デバイスプールがオーディオソース ID を指定していない場合は、システムデフォルトを使用します。</p> <p>オーディオソースの定義は、[保留音オーディオソースの設定 (Music On Hold Audio Source Configuration)] ウィンドウで行います。このウィンドウにアクセスするには、[メディアリソース] > [保留音オーディオソース] の順に選択してください。</p>

CTI ルート ポイントの削除

CTI ルート ポイントを削除する手順は、次のとおりです。

始める前に

1 つまたは複数の電話番号に関連付けられた CTI ルート ポイントを削除できるため、CTI ルート ポイントを使用している電話番号を特定する必要があります。CTI ルート ポイントを使用している電話番号を特定するには、[CTI ルートポイントの設定 (CTI Route Point Configuration)] ウィンドウの [関連リンク] ドロップダウンリスト ボックスから [依存関係レコード] リンクを選択し、[移動] をクリックします。依存関係レコードがシステムで使用可能になっていない場合、[依存関係レコード要約 (Dependency Records Summary)] ウィンドウにメッセージが表示されます。依存関係レコードの詳細については、P.A-4 の「[依存関係レコードへのアクセス](#)」を参照してください。使用中の CTI ルート ポイントを削除しようとする、Cisco Unified Communications Manager からメッセージが表示されます。

割り当てられている電話番号をもつ CTI ルート ポイントを削除する場合、ルートプラン レポートを使用して電話番号を検索できます。ルートプラン レポートを使用して電話番号を削除することもできます。

手順

ステップ 1 [デバイス] > [CTI ルートポイント] の順に選択します。

[CTI ルートポイントの検索と一覧表示 (Find and List CTI Route Points)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 削除する CTI ルート ポイントの検索に必要な検索条件を指定します。

ステップ 3 [検索] をクリックします。

ウィンドウの内容が更新され、指定された検索条件と一致する CTI ルート ポイントのリストが表示されます。

ステップ 4 次のアクションのいずれかを実行します。

- 削除する CTI ルート グループの横にあるチェックボックスをオンにし、[選択項目の削除] をクリックする。
- ウィンドウ内の CTI ルート ポイントをすべて削除する場合は、[すべてを選択] をクリックし、[選択項目の削除] をクリックする。
- 削除する CTI ルート ポイントの名前を選択して、現在の設定値を表示し、[削除] をクリックする。

ステップ 5 [OK] をクリックすると、CTI ルート ポイントが完全に削除されます。

追加情報

P.79-9 の「[関連項目](#)」を参照してください。

CTI ルート ポイントのリセット

CTI ルート ポイントをリセットする手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 [デバイス] > [CTI ルートポイント] の順に選択します。

[CTI ルートポイントの検索と一覧表示 (Find and List CTI Route Points)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 使用する検索条件を選択します。

ステップ 3 [検索] をクリックします。

検索条件に一致する CTI ルート ポイントがウィンドウに表示されます。

ステップ 4 リセットする CTI ルート ポイントの横にあるチェックボックスをオンにします。ウィンドウ内の CTI ルート ポイントをすべて選択するには、検索結果表示のタイトルバーにあるチェックボックスをオンにします。

ステップ 5 [選択項目のリセット] をクリックします。

[デバイスリセット (Device Reset)] ダイアログが表示されます。

ステップ 6 次のいずれかのボタンをクリックします。

- [リスタート]: デバイスをシャットダウンしないで再起動する。
 - [リセット]: デバイスをシャットダウンしてから起動する。
 - [閉じる]: 何も実行しないで、[デバイスリセット (Device Reset)] ダイアログを閉じる。
-

追加情報

P.79-9 の「[関連項目](#)」を参照してください。

関連項目

- [CTI ルート ポイントの設定 \(P.79-3\)](#)
- [CTI ルート ポイントの検索 \(P.79-2\)](#)
- [CTI ルート ポイントの設定値 \(P.79-4\)](#)
- [CTI ルート ポイントの削除 \(P.79-7\)](#)
- [CTI ルート ポイントのリセット \(P.79-8\)](#)
- 『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「コンピュータ テレフォニー統合」

